

【R 1 8】 ノベル

C F N M

『男体書道』
～男子の肌に筆で文字を書く～
〔全編会話形式版〕

作：七条右京

【登場人物】

- ・ いちじょう おうか 一条 桜花：女教師
- ・ せんすいつむぎ 仙水 紬：女子生徒 1
- ・ てんのうじ あおい 天王寺 葵：女子生徒 2
- ・ さなだ みれい 真田美玲：女子生徒 3

「」は台詞、『』は心の声、
□は男子の台詞の箇所

一条桜花：

「今日の書道の授業は、〔男体書道〕と言って、紙の代わりに男子の肌に筆で文字を書く書道を行います」

「女子は、隣の男子の肌に筆で文字を書きなさい」

「男子は、肌を全て露出してもらいますので、服を全部脱いで裸になりなさい」

「もちろんパンツも脱ぎなさい」

「男子、早く脱ぎなさい」

「テーマは自由よ」

「男子の肌に自由に文字を書いて、作品を仕上げなさい」

「準備が出来た男女の組み合わせから始めて！」

「時間ないわよ」

「授業時間中に作品を完成しなさいよ」

【ケース 1：仙水紬と音矢涼太の場合】

仙水紬：

「ねえ、音矢君ってば、早く服脱いで」

「ほら、ジャケット脱いで」

「ワイシャツも脱いで」

「いちいち私が言わなきゃ脱がないの？」

「私が脱がせてあげようか？」

□

「だったら、自分で早く脱いでよ」

「何恥ずかしがってるの？」

「パンツ残ってるわよ」

「早くしろって先生も言ってるわよ」

□

「別にいいじゃない」

「おちんちん位、私に見られても・・・」

「って言うか、音矢君のおちんちん見てみたい
なあー」

□

「ちょっと何よ」

「私を変態扱いしないでよ」

「音矢君だって、私の事エロイ目でじっと見て
る時、あるわよ」

「何考えて見てるの？」

「どうせ私の裸とか想像してるんじゃない
の？」

「音矢君の方が、ずうーと変態よ」

「女のコだって、エッチな事考える時あるわよ」

「それとも女のコは、エッチな事考えちゃいけ
ないって言うの？」

□

「だったら、ほら、早く」

□